

## 令和3年度 公開講座（短期課程）

担当科名	機械システム系メカトロニクス科
担当者名	山口俊憲
講座名	デザイン思考に基づく経営・生産革新セミナー リーンで取組むスタートアップ・アントレプレナー
実施日時	① 令和3年10月15日（金） 18:00～21:00
	② 令和3年10月22日（金） 18:00～21:00
	③ 令和3年11月 5日（金） 18:00～21:00
	④ 令和3年11月19日（金） 18:00～21:00（計12時間）
募集定員	6人（申込者多数の場合最大10名程度まで）
募 集 対 象	対象職種：不問（事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能）
	受講に必要なレベル：新しいビジネス、製品、サービスなどを考えたいとお考えの方
注 意 点	中小企業のための生産改善・革新セミナー(1)～(7)を担当する教員がこれまでの企業との関わりの中で得られた知見に基づき、新しいビジネス・製品・サービスについて受講生と一緒に考える講座です。
講 座 内 容	生産性向上の実現には効率化だけでなく、高付加価値化が不可欠となります。この講座を担当する講師が開講する「中小企業のための生産改善・革新セミナー」では7講座のうち「人間工学・UX」を除く6つの講座は効率化に重点をおいています。 この講座では高付加価値化に向け、近年の様々な情勢などについて情報共有を行い、IoT・ICTなどのデジタル技術や協働ロボットなどのテクノロジーを活用した新しいビジネス・製品・サービスの創出と提案について担当講師と考えます。手法として、近年注目されているリーン・スタートアップやリーン・アントレプレナーを紹介します。ここで使われているリーンとは、リーン生産方式のリーンに由来しており、生産改善の考え方と非常に親和性が高くなっており、生産改善に取り組みれていた方には馴染みのある考え方を基盤としています。
目 標	新しいビジネス、製品、サービスについて考えるきっかけになる。
履 修 項 目	以下の項目について受講生と担当講師とのディスカッションを通して考える。 ①近年の社会情勢・経済状況の変化 ②山形・東北地域の経済情勢 ③今後の製造業，サービス業，農業など様々な産業の可能性（Industry4.0、Society5.0） ④デザイン思考 ⑤リーン・スタートアップ、リーン・アントレプレナー ⑥協働ロボットやIoTツールの活用 ⑦ビジネス・製品・サービスの検討
使用装置	特になし
受 講 費 用	受講料：6,000円（12時間コース）
	自己負担：           円（テキスト：           円・材料費：           円）

	報 償 費	円	印刷製本費	円	材 料 費	円
講座費用	費用弁償	円	消耗品費	円	通信運搬費	円
	普通旅費	円	使用賃借料	円		
そ の 他	<p>○ 単位互換について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門課程での単位互換はない。</li> <li>・ この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「起業論」の受講を一部免除する。</li> </ul> <p>○ 講師と講座について</p> <p>担当する講師は大学・大学院（修士課程・博士課程）で経営工学を専攻し、その後 10 年以上にわたり様々な産業の現場の改善に取り組んできています。また、ものづくり現場の効率化に重きを置いた公開講座を 10 年以上開講し、延べ 700 名近い方が受講しています。</p> <p>○ 新型コロナ対策について</p> <p>基本的に対面での実施を予定しておりますが、状況に応じて遠隔などで実施することがございます。</p> <p>*例年、定員を超える申し込みを頂いているため、最大受け入れ人数を 10 名とした。</p>					